

## ▽▲海の貴婦人「海王丸」が遠洋航海に出航▲▽

### 関西地方支部

風薫る4月20日、神戸港新港第1突堤で、5年ぶりに遠洋航海に向かう練習船「海王丸」の出航式典が開催され、本組合からは浦隆幸関西地方支部長をはじめ2人の執行部が出席した

#### ★5年ぶりの遠洋航海、期待で胸がいっぱい

式典では、独立行政法人・海技教育機構を所管する国土交通省の海谷厚志国土交通省海事局長のあいさつに続いて、来賓からあいさつが述べられた。制服やスーツに身を包んだ実習生たちは、真剣な表情で激励のあいさつに耳を傾けていた。

神戸親善大使から、船長と機関長ならびに生徒代表者へ花束が贈呈され、式典に彩が添えられた。

最後に菊池章友船長から「長期間の航海によって各人の精神力を鍛えるとともに、チームワークを高め、それぞれの目標を達成すべく充実した航海にしたい。一同元気に帰港すべく安全運航に努め遠洋航海を成就させる」とあいさつが述べられた。

この航海は神戸港を出港後、シンガポールへ寄港し6月5日に東京港へ帰港するもので、船員を目指す大学や高等専門学校の航海科・機関科から68人の実習生が乗船した。

式典が終わると実習生たちは「登れ」の合図でマストへ登り、感謝の意を表す最高儀礼「登檣礼」が6年ぶりに行われた。実習生たちが空に向かって大きく手を振る姿は、航海への期待を胸に、船員職業の誇らしさを感じるワンシーンとなった。

「海員だより」